

特集

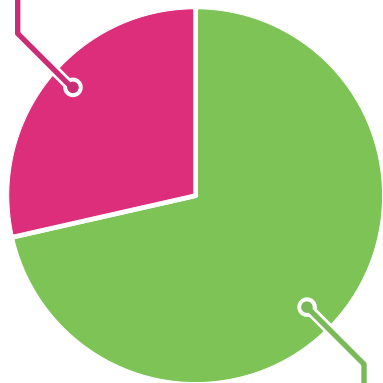
平成25年度予算

平成25年度の当初予算は、経常的経費や義務的経費などからなる「骨格予算」として編成されており、6月補正予算で、政策的な経費や新たに取り組む諸事業の経費などが盛り込まれ、平成25年度の施策が本格的にスタートしました。

平成25年度一般会計
財源の内訳

自主財源 42億3517万円

- 市税
- 繰入金
- 繰越金
- その他の収入



依存財源 106億162万円

- 地方交付税
- 国・県支出金
- 譲与税・各種交付金
- 市債

災害からの復興に向けて

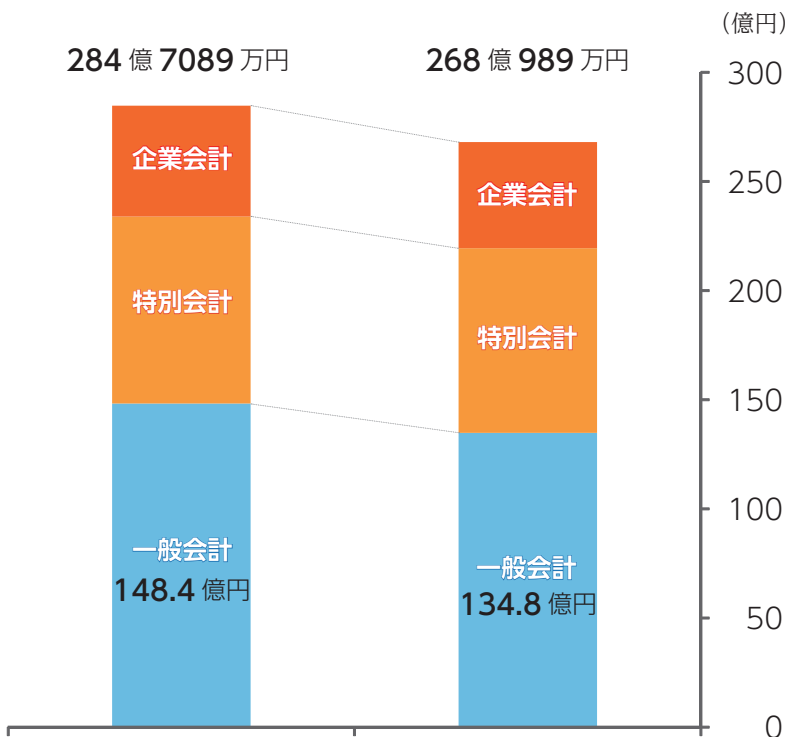
本年度の一般会計予算は、昨年度当初予算に比べ、約13億5000万円増加し、約148億円（会計総額285億円）の予算編成となりました。※以下グラフのとおり。

増加の主な要因は、昨年発生した豪雨災害に伴う復旧事業費が、昨年度から増えていることなどが挙げられます。

災害からの早期復旧を最優先事項として、各施策を進めていきます。今月号では、会計ごとの予算編成のほか、施政方針、主要事業などをご説明します。

284億7089万円

268億989万円



平成25年度

平成24年度



譲与税・各種交付金の内訳

- 地方消費税交付金（2 億 8,400 万円）
- 利子割交付金（460 万円）
- 配当割交付金（390 万円）
- 株式等譲渡所得割交付金（70 万円）
- ゴルフ場利用税交付金（2,440 万円）
- 自動車取得税交付金（3,630 万円）
- 地方特例交付金（425 万円）
- 交通安全対策特別交付金（590 万円）
- 地方譲与税（1 億 9250 万円）

一般会計の内訳

教育や福祉、土木、農政、商工観光振興事業など市の基本的な行政運営を行う会計

総額 **148 億 3679 万円**

※前年度比：+ 8.7%（6 月補正後）

用語解説

地方交付税

行政サービス水準の均一化のため、国が市の財政状況に応じて配分するお金です

国・県支出金

事業を行うため国や県から交付されるお金です

市税

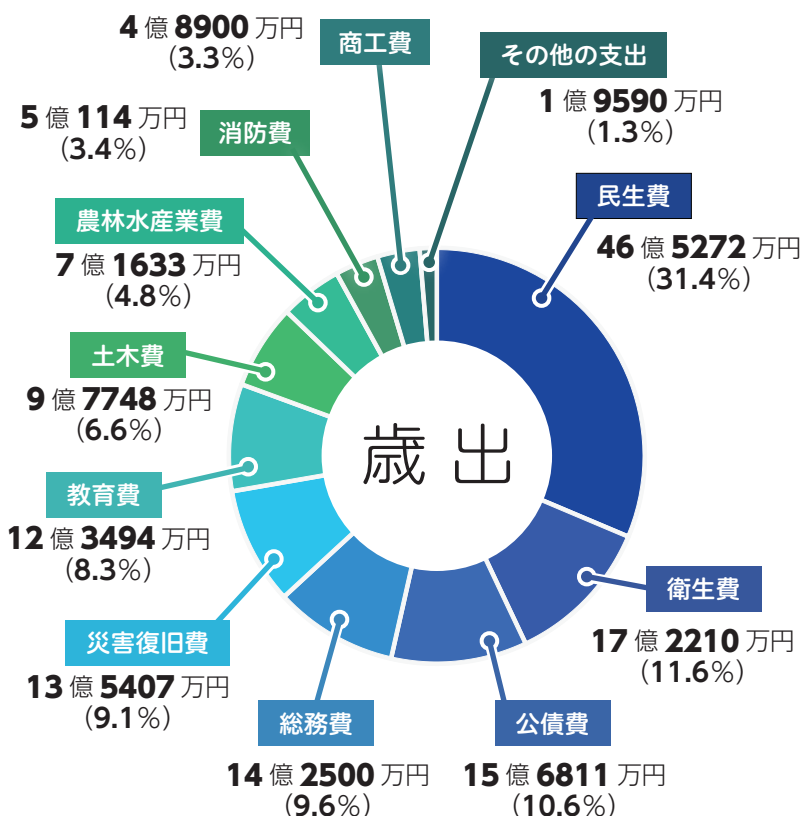
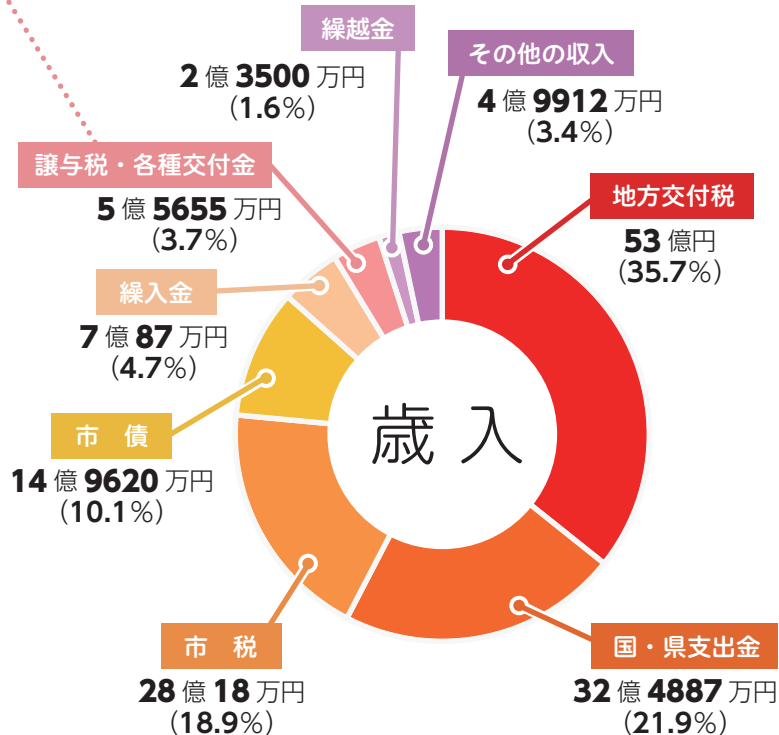
市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など最も重要な財源です

市債

特定の事業のため借り入れるお金です

その他の収入

分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入などがあります



用語解説

民生費

福祉向上のために使われるお金です

衛生費

ごみ処理や健康づくりなどのために使われるお金です

公債費

市の借金を返済するためのお金です

土木費

道路や橋、河川、公営住宅などの整備のために使われるお金です

農林水産業費

農林業の振興のために使われるお金です

商工費

商工、観光の振興のためのお金です

特別会計名	予算額
●国民健康保険事業	40 億 5045 万円
●介護保険事業	28 億 7789 万円
●下水道事業	9 億 9075 万円
●後期高齢者医療事業	3 億 9118 万円
●阿蘇山観光事業	1 億 567 万円
●診療所事業	9286 万円
●財産区事業	4311 万円

特別会計の内訳

国民健康保険や介護保険など、一般会計とは別に特定の収入支出により処理される会計

総額 85 億 5191 万円

※前年度比：+ 1.1% (6 月補正後)

●国民健康保険事業

加入者の皆さまからの保険税収入と国・県・市などの公費により、医療費の支払いを中心に行う会計です。

生活習慣病の早期発見と予防を目的とした特定健診・特定保健指導などを行い、医療費の適正化に努めています。

●介護保険事業

介護（介護予防）サービスを提供するための会計です。

支出としては、介護（介護予防）給付費やサービスを利用するための要介護（要支援）認定にかかる事務費などが含まれます。

●下水道事業

公共下水道事業を行うための会計です。

河川、海などの水質保全を目的とし、快適で環境にやさしい生活環境を創出するための整備を行っています。今年度は黒川地区（坊中、南黒川）の管渠整備及び昨年度から実施している老朽化した幹線管渠の改修事業、下水道浄化センター（処理場）の老朽化に伴う改修事業の実施計画策定、新橋汚水中継ポンプ場の改修事業（発電機）を予定しています。

●後期高齢者医療事業

主に75歳以上の人を対象とする後期高齢者医療制度の事業を行うための会計です。

市で保険料を徴収して、熊本県後期高齢者医療広域連合に納付する保険料や後期高齢者の健診をはじめとする保健事業費、負担金・事務費などが含まれています。

予算総額の約6割を占める保険料は、後期高齢者の医療費などに充てられます。

●阿蘇山観光事業

阿蘇山周辺の観光利用促進を目的とした会計です。収入の主なものとしては、阿

企業会計の内訳

水道事業や病院事業のように、独立採算による特定の事業を経理する会計

総額 50 億 8219 万円

※前年度比：+ 4.2% (6 月補正後)

企業会計名	予算額
●阿蘇中央病院事業	39 億 9591 万円
●水道事業	10 億 8628 万円

●阿蘇中央病院事業

病院事業経営のために設けられた、独立採算性の会計です。収入の大部分は、入院・外来の医療収入です。阿蘇中央病院は、地域の中核病院としての役割があり、市民をはじめ地域住民の「命」と「健康」を守る医療機関です。

今年度は、通常の病院運営業務のほか、平成26年の新病院開院に向けて病院の建設を進めています。

●水道事業

水道事業経営のために設けられた、独立採算性の会計です。事業収入の大部分は、私たちが支払う水道使用料です。

今年度は、給水戸数 9566 戸、総給水量 412万9千立方メートルを予定しています。

●診療所事業

無医地区である波野地域住民の医療を確保するために、「へき地診療所」として設置されている波野診療所の会計です。

収入は内科・歯科の診療収入が主なもので、支出では人件費が約55%、薬剤・診療材料費が約28%、機器などの購入・リース料が約3%、施設管理費が約

蘇山公園道路使用料7899万円、売店収入1800万円、ユースホステル使用料258万円を見込んでいます。

主な支出としては、管理委託に2871万円、防災関係の一般会計繰出金3085万円です。

●財産区事業

財産区が管理する簡易水道事業などを行うための会計です。支出の主なものは、簡易水道の維持管理を行う水道管理費、山林など財産管理費及び委員会費です。

▼坂梨財産区	1370 万円
▼古城財産区	2029 万円
▼中通財産区	909 万円
▼宮地財産区	3 万円